

政策評価・事務事業評価実施後における執行者対応等検証シート

【事業名称】 デマンドバス運行委託事業

	H30年度予算額	H29年度決算額	H25年度決算額（評価実施年度）
事業費	56,361,000円	56,360,220円	41,942,622円

○事業評価チェック表（政策評価・事務事業評価実施時における事業概要及び事業実績並びに評価結果）

PLAN	・事業の概要	太田市在住で歩行以外の移動手段を持たない65歳以上の方、障がい手帳をお持ちの方及び生活保護を受給している方を対象に実施。利用は1週間前から前日までの電話予約制。10人乗りワゴン車8台を午前7時から午後4時まで運行。運賃は1回片道100円。停留所数701箇所。(株)矢島タクシーに運行委託。				
	・ねらい	毎年利用者が減少し続ける路線バスに代えて平成22年度から導入。利用対象者を高齢者や障がい者で移動手段を持たない方に限定したデマンド方式による小型乗合バスを運行することにより、通院や買い物不便者の解消を図る。				
	・予算	50,821,000円				
DO	・事業実績	・運行車両台数	7台			
		・利用登録者数	2,776人(男600人 女2,176人)			
		・延べ利用者数	25,969人(男4,768人 女21,201人)			
		・運行委託事業費	41,942,622円 ※1人当たりの運行経費1,615円/回			
ACTION	評価	総合評価基準	計	65/100	課題	
		5 きわめて良好である	80点以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 運賃の改定 予約が取りづらい 登録者数と利用者数との間に大きな差がある。 利用対象者への周知 	
		4 適正である	60~79点			○
		3 おおむね適正である	40~59点			
		2 問題がある	20~39点			
1 不適正である	19点以下					
に お け る 評 価	評価	今後の方向性基準評価評価（該当欄の○）	評価	3	決定理由	
		5 「拡充する」		3	<ul style="list-style-type: none"> 予約の不成立を少しでも減少させる方策を検討 利用対象者への周知方法の検討 	
		4 「現状のまま継続する」				
		3 「改善・効率化し継続する」	○			
		2 「見直しのうえ縮小する」				
1 「不適正である」						

○執行者対応等確認表（委員会の評価結果を受けての執行者の対応）

CHECK	事業実績の比較、 評価後の改正点等	1 政策評価・事務事業評価実施後の事業実績（評価実施時との比較）	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>50,820,140円</td> <td>50,389,080円</td> <td>56,395,365円</td> <td>56,360,220円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>30,703人</td> <td>32,108人</td> <td>33,130人</td> <td>32,506人</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの運行経費</td> <td>1,655円</td> <td>1,569円</td> <td>1,702円</td> <td>1,734円</td> </tr> <tr> <td>実利用者数</td> <td>998人</td> <td>946人</td> <td>951人</td> <td>927人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>3,082人</td> <td>3,117人</td> <td>3,375人</td> <td>3,538人</td> </tr> </table>					H26	H27	H28	H29	事業費	50,820,140円	50,389,080円	56,395,365円	56,360,220円	延べ利用者数	30,703人	32,108人	33,130人	32,506人	1人当たりの運行経費	1,655円	1,569円	1,702円	1,734円	実利用者数	998人	946人	951人	927人	登録者数	3,082人	3,117人	3,375人	3,538人
			H26	H27	H28	H29																														
事業費	50,820,140円	50,389,080円	56,395,365円	56,360,220円																																
延べ利用者数	30,703人	32,108人	33,130人	32,506人																																
1人当たりの運行経費	1,655円	1,569円	1,702円	1,734円																																
実利用者数	998人	946人	951人	927人																																
登録者数	3,082人	3,117人	3,375人	3,538人																																
		2 政策評価・事務事業評価実施後の改正点、または見直しを行った点(改正等を行わなかった場合は、その理由等)	<p>(1) 車両の増車 平成26年度に1台、さらに平成28年度に1台増車し現在9台(10人乗り2台/7人乗り7台)を運行している。</p> <p>(2) 予約方法の見直し</p> <p>① 1回の電話で複数日の予約が可能であったが、1回の通話時間を短縮し、より多くの人々の電話を受けられるようにするため、平成28年度から、予約は1回の電話で2日分のみ受付に変更した。しかしながら、実利用者数は、上記1の表のとおりであり、新たな利用者の増加には至らなかったと考えられる。</p> <p>② 利用者の希望どおりに予約を受けていたが、平成27年度に実験的に、同一方向の予約が入った場合、15分程度までの時間差であれば時間調整し、可能な限り乗り合わせでの運行をお願いした。実施後、乗合率で約0.8%の増加がみられた。</p>																																	
	今後の事業方針	◎ 今後の事業方針（事業実績に対する評価も含む）	<p>今年度から市営無料バスの運行、バス停までの無料送迎を開始した。いずれも、主に高齢者を対象とした事業であり、おつかがい市バスの利用者との重複が考えられる。相互に連携をとりながら、おつかがい市バスを含む公共交通全体における利便性の向上を図る。</p>																																	

○検証結果（執行者の対応に対する委員会の評価）

ACTION	対応への評価、 課題・改善点等 (今後の事業展開等含む)	委員会における検証結果
		<p>評価実施後、電話がつながりにくいといった課題の解消に向け予約可能日数の見直しをした結果、通話時間の短縮が図られ、つながりやすさが促進された。また時間調整による乗り合わせを推進したことで乗合率の向上がみられた。移動手段を持たない高齢者等の有効な移動手段となる本事業における改善への取り組みは評価できる。</p> <p>ただ、一部で電話がつながらないため予約を諦めてしまった、また登録者は増えているものの、利用者の固定化傾向による新規利用者が伸び悩むといった課題も残している。評価実施後、運行車両を2台増車したものの利用者数の推移から判断すると、その効果の度合いは低かったと言える。利用拡大を図るためには車両、電話回線、オペレーター等の増加も必要と考えられるが、一方で運行経費を増大させる要因となることを考慮し、委託事業費を検討する上で慎重に審議すべきである。</p> <p>今後、今年度開始された市営無料バスの状況も見据えながら、予約方法はもとより、運行方法についても他自治体における最新技術等を研究するとともに、地域公共交通活性化協議会において十分協議・検討し、継続可能で、より利便性が高いデマンドバスを運行できるよう取り組んでいただきたい。</p>